

IEI

東野便り

HIGASHINO DAYORI

02

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

「書くこと」について

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。いつの間にか、校内の桜もハナミズキへとその主役の座を移したかのようです。皆様には常に変わらぬご支援ご協力を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

2022年度を迎えても新型コロナウイルス感染症の収束は見えず、幾多の試練を抱えたままの状況が続いています。先行き不透明な日々ではありますが、二度とは戻らない高校時代を出来る限り有意義な時となるように、最大限の注意を払いながら進んでまいりたいと考えております。まずは、ここまでは順調に動き始めていることをご報告いたします。

ところで、今の世の中は、知識も情報も溢れていますし、インターネットで簡単に調べることが出来、文字も文章も直接書かなくとも表現できます。しかし、時には辞書で漢字を調べ、文章を推敲する時間が私たちには必要ではないでしょうか。そこで、次のような理由からも生徒たちにはよく考え「書く」ことの大切さを伝えたいと思っています。

私は、君たちには日記をつけることを勧めます。そのために東野ノート（生徒手帳）の中には『A single line diary』のページを入れています。一日一行で良いので記録し続けることによって、多くの利点が生まれるはずで。例えば1年前に書いたものを読み返すことによって、記憶を呼び覚まし同じ失敗を繰り返さないことに繋がります。また、書くことによって心が整理されます。この心の整理について考えてみましょう。私たちは、生きていくと様々な感情が沸き上がってきますが、書くことによってその感情を分散させられるような気がします。感情は、「怒り」「悲しみ」「不安」「喜び」の4つに分類されます。それらの感情は、感じるべきだし表現するべきだと思います。そして、その感情を上手に消化し分散させて次に進むことが大事でしょう。

書くことによって「悲しみ」が薄まらずとも、一点深く打ち込まれすぎずその悲しみを少しずつでも流すことが出来る。書くことによって「怒り」の感情が収まり、冷静さを取り戻すことが出来る。書くことによって「不安」からの回避の道筋を付けることが出来る。書くことによって「喜び」の感情に有頂天にならずに済むことが出来る。

書くことは、自分自身への【発信】だともいえると思うのですが、どうでしょう。書くことによってもう一人の自分と議論して、本当の自分を見つけていくことが大切だと思います。今年度の本校のテーマでもある【発信・安心】のためにも、一行日記をつけることから始めてみませんか。君たちには、自らの意志で学びを求め、考え・議論し・検証し・答えを見つけていく探求心を深め、AIには奪われない力を身に付けてほしいと考えています。知識は第一の宝・品行は最高之美・忍耐は無上の力です。

保護者の皆様には、これまでもまして、東野高等学校発展のためにお力添えいただけますようお願い申し上げます。

謹白

今後の予定（「2022年度 行事予定表」もご覧ください。本校HPに掲載されております。）

4月25日（月）TGG（2学年）	5月24日（火）～27日（金）中間考査
28日（木）東野ウォーク（1学年）	28日（土）生徒自宅学習日
29日（金）昭和の日	30日（月）～6月3日（金）英検週間
吹奏楽部 定期演奏会（狭山市市民会館）	6月4日（土）英検1次試験（全員）
30日（土）生徒会選挙・開票、防災訓練	5日（日）入間市清掃デー、地域公開
5月7日（土）～10日（火） 学校公開（バスはHPに掲載）	9日（木）3学年模擬試験（全員）
9日（月）1学年放課後講習開始	18日（土）前期生徒総会
14日（土）PTA総会	24日（金）体育祭